

ちいき新聞

2021年1月15日号

佐倉西版

発行部数43,170部

VOL.2047 全49版

総発行部数2,053,101部

今週の見どころ

- ☆2021年は月食の当たり年
- ☆置き配を活用しよう
- ☆図書館1月のおすすめ本

エンゼル子育て支援センター **ぱうらんど**

R3年度プレイデイ生徒募集 (0、1、2歳)

無料体験・手遊び、体操、製作などをやります♪ ※コロナ禍の為 感染対策実施の上行います

2/19(金)、3/5(金)

9:30~各5組 (TEL受付先着順) 受付開始(1/12(火)9:00~)

詳しくはホームページを見てね <http://www.angel-g.ac.jp/> (受付時)月~木 9:00~13:00

☎047-405-6636

ちいき新聞へのお問い合わせは ☎0120-152-337 ※音声ガイダンスに従ってご用件をお話してください 受付/平日10:00~18:00 ※土日祝日は休み sakura-nishi@chiikinews.co.jp

自分好みの反物から手縫いで仕上げた「世界で1つだけの着物」

輝く個性 誇らしげな笑顔

昨年12月15日、冬の青空の下、佐倉城大手門から続くイチョウ並木の通学路を佐倉東高校服飾デザイン科・和裁コースの3年生は、はかまにブーツ姿でさつそうと登校した。この「和服登校日」には、製作した着物とはかまを自宅で着付けて登校し、学校生活を一日過ごすのだ。彼らは2年次のコース選択後、和装の知識や縫製技術はもちろん、着付けや礼法など和装での身のこなしも学んできた。

高校生が自作の着物で登校

佐倉の町を自作の和服を着て登下校

佐倉東高校 服飾デザイン科・和裁コース

あでやかな和服登校の一日

県立佐倉東高校は、1907(明治40)年に佐倉女子技芸学校として創立し、服飾デザイン科は服飾教育の伝統を受け継ぐ県内唯一の公立校。年1回ある「和服登校日」、生徒たちは和装で1日を過ごす。



検温後、昇降口前に増設された手洗い場で手洗い・消毒してから校内へ入る。ウイルス対策は着物姿でも徹底



着物姿で教室掃除も。「はかまは下の着物を短く着付けるから足さばきも楽」

とはかま」を身に着けた彼女らは皆誇らしげ。「着物とバッグに配置したカーネーション柄がお気に入り」と話す三輪さんは、着物生地とはかま生地の両方を使ったバッグが着こなしのポイント。堤野さんは「19歳の時に祖母が着た羽織を譲り受け、はかまの背と帯先には母が刺しゅうをしてくれた」と家族の着物好きを受け継ぐ。級友同士で趣向を

凝らした髪飾りや小物使いを互いに称賛し笑いさざめいていた。

一針ごとに汗と涙がにじんだ

同校では例年7月、9月、10月に成果披露のファッションショーを開催する。だが、昨年3月にはコロナ禍の影響で2年次の作品が未完成のまま長い休校に入った。6月中旬に学校が再開すると、



早起きして、髪を結び着物やはかまを自分で着付けて登校。同級生や後輩たちから憧れの熱い視線を浴びる

シヨールに向けて振り袖やはかまを含む課題4点の製作を同時進行。生徒たちは「夏休みも毎日登校して、課題に追われた時期は大変でした」と口々に言う。一方、担任の小林葵(あおい)教諭は、「生徒と共に泣き笑いの一年でした」と振り返る。正確な縫製技術を身に付けるために、縫い目の不ぞろいやゆがみは「やり直し」をする。課題の提出期日が迫る生徒たちは、できない自分に悔し涙を流した。それだけに、仕上がった時の達成感は大きく、今の自信につながっている。「入学時に漠然と進路を考えていた生徒たちも3年間の経験を通して8割の生徒が服飾関連の進路に進む」という。

※問い合わせ ☎043(484)1024 同校 教頭 高木

愛樹葬 樹木葬墓地 好評受付中!

古銀買取!! ダイヤ・金